三保から始まる魔法の中間支援
～チャレンジ・コミュニティの実現～

チーム：まじょの杜（森・楠木・加藤・大橋・河野(kiki)）

社会活動に対する現状

すでに活動をしている人

社会活動団体が直面している課題	
人材の確保や教育	75.5
収入源多様化	56.3
法人の事業運営力向上	46.8
事業規模拡充	29.0
外部人脈・ﾈｯﾄﾜｰｸ拡大	46.8
一般向け広報の充実	16.5
関係者への活動結果の報告	5.4
会計情報の開示	3.4

活動をしていない人

社会活動に参加する際の障壁	
活動に参加する時間がない	53.4
活動に参加する際の経費負担が大きい	27.8
活動を行いたいが十分な情報がない	25.8
活動に参加するための手続きがわかりにくい	24.1
活動に参加する際、休暇取得などが必要	20.7
受入れ団体に対する不信感や信頼性への不安	16.5
一緒に参加する人がいない	12.9
その他	18.2
特に妨げとなることはない	9.3

政府統計　H26特定非営利活動法人及び市民の社会貢献に関する実態調査より抜粋

三保の場合・・・

三保ですでに活動をしている関係各キーパーソンへのインタビュー結果（旅行業者、自治会、NPO、交流館、大学、行政他）

・観光に力を入れた地域振興を推進
・地域との交流、着地型の観光をしたい
・NPOなどが松葉掃除をしている
・地域外の人が三保に来て地域活動をしている

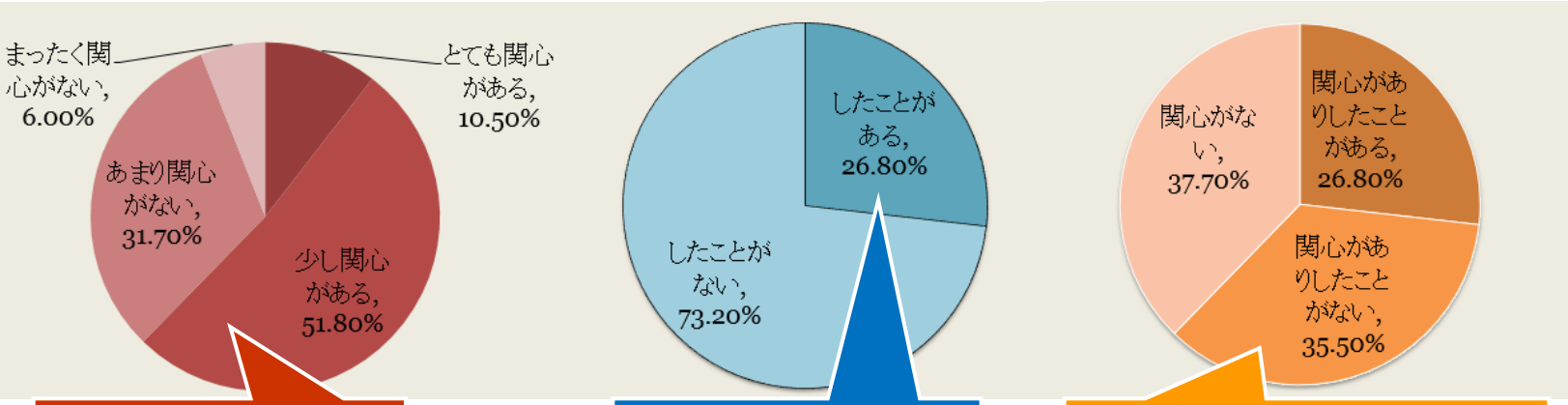
→

・観光で生活しているのは200人程度、実際観光振興への地元ニーズは少ない
・地域活動は盛んだが身内意識が強くリーダーや後継者が育たない
・三保の松原文化的価値や範囲を知らない
・三保内でどんな団体が何をしているかあまり知らない

社会活動は盛んだが、三保内とそれを取り巻く外との声にギャップがある

目標 1

2014年



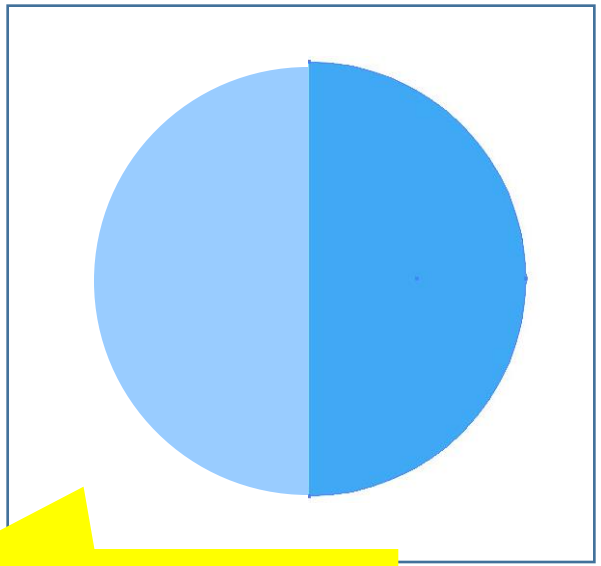
関心がある層は
62.3%

行動したことがあるのは26.8%

35.5%の人は関心を行動に移していない

政府統計　H26特定非営利活動法人及び市民の社会貢献に関する実態調査

2018年



三保での
社会活動参加50%!!

目標 2

住民のニーズにマッチした社会活動が盛んになる（調査継続中）

三保に関わる主な団体・組織

【松保全・支援団体】
・NPO法人三保の松原　羽衣村
・羽衣ルネッサンス協議会
・三保自治会連合会
・三保の松原名勝保存会

【地域】
・三保自治会連合会

三保住民

【観光】
・㈱しずおか体験企画
・しずおか体験教育旅行
㈱エスパルスドリームフェリー、鈴与グループ・・・他
・教育旅行受入れ団体数
昨年約143校（内県内71校）
・各旅行会社

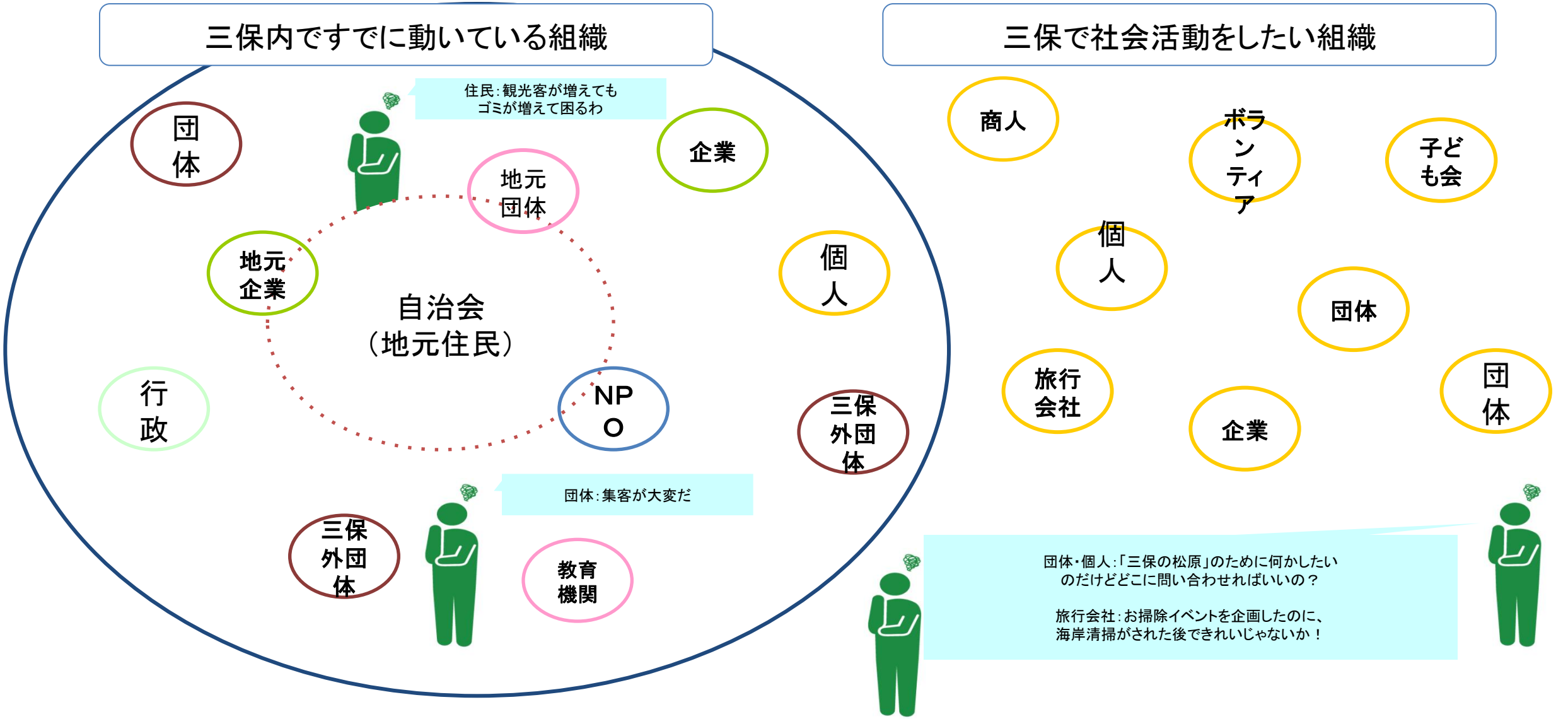
【地域・社会活動団体】
三保内（地元民中心）
・三保松原フューチャーセンター
・あかりともるよるプロジェクト
・三保青年部
・三保（サンポ）会
・あるこあるこ会
・ビーチクラブ
・三保音楽の村
・東海大学内　三保地域活性化プロジェクト
・三保ボランティアガイド
三保外
・まつぺれプロジェクト
・三保プランコンテスト実行委員会
・みなとふじ
・チームつながり
・三保ビーチクリーンPJ
・しずおか大人の文化祭

【松植樹団体】
・静岡新聞社ふじさん部
・清水銀行
・子ども会、連合会　・・・その他

【行政】
静岡市
・歴史文化課（中心窓口）
・治山林道課
・観光交流課
・都市計画事務所
・清水道路整備課
・環境創造課
静岡県
・富士山世界遺産課
・森林整備課
・中部農林事務所
・河川企画課
・静岡土木事務所

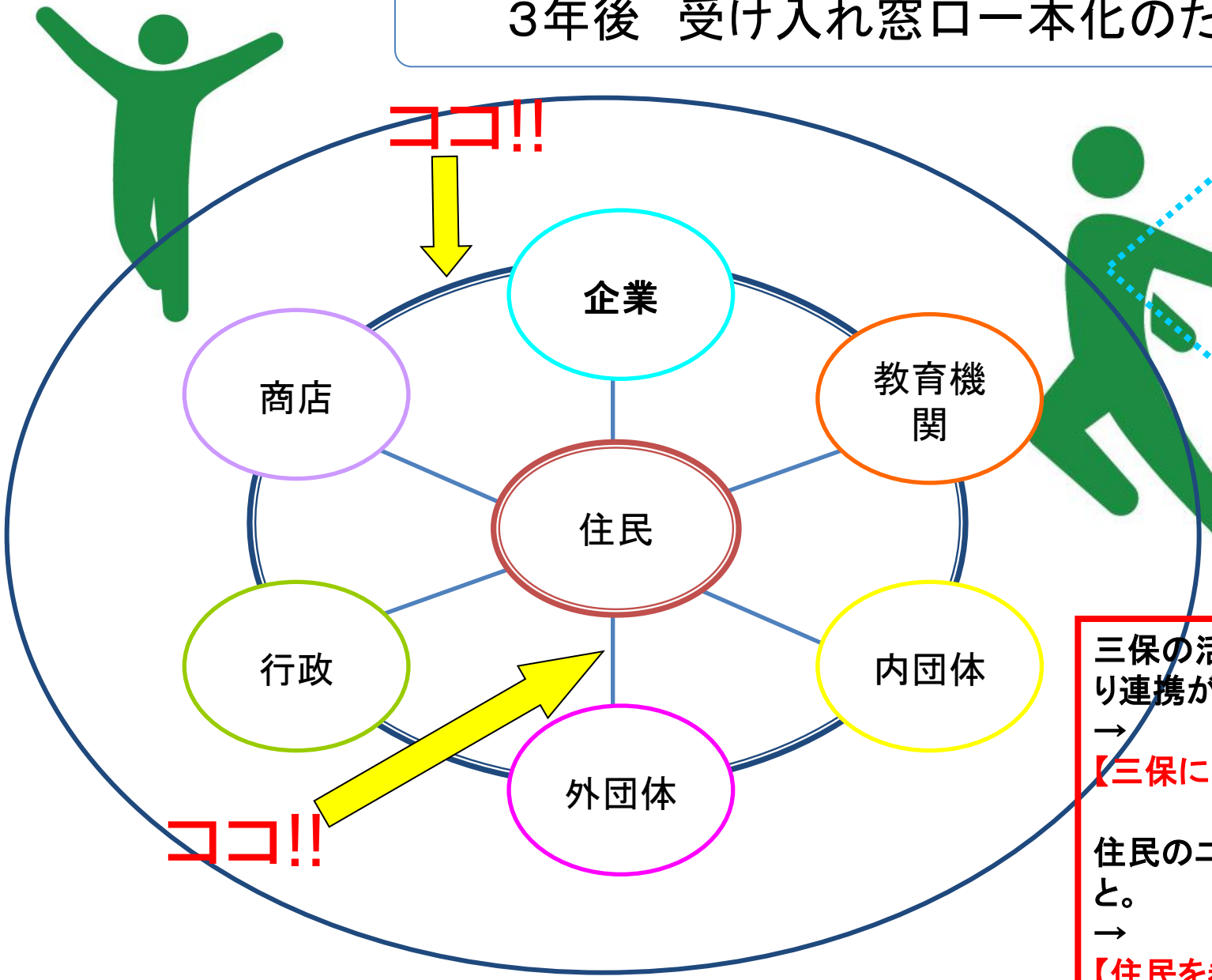
・それぞれが活動希望者を受け入れていて、窓口が複数存在する

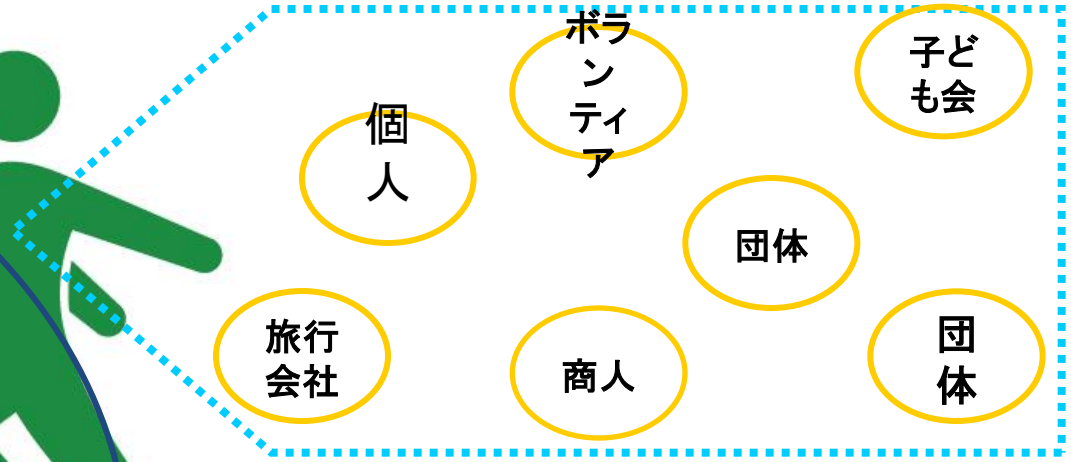
・市民活動センターも受入れ窓口にはなっていない
（平成26年度市民活動団体名簿によると、三保の登録団体は7件のみ）



社会活動に関心のある人が、
「三保内外関係なく、三保に集まり活発化する」ためには、
三保内ですでに動いている組織の連携が必要。

3年後　受け入れ窓口一本化のために





三保の活動の受け入れ窓口が団体・行政・企業等複数あり連携が取れていないこと。
→
【三保における社会活動団体の連携促進】

住民のニーズや場所・想いが置いてけぼりになっていること。
→
**【住民を巻き込んだ
チャレンジコミュニティーの土台】**

三保交流会 【三保における社会活動団体の連携促進】

【Select city 会議2015 in三保～世界を魅了するまちへ～

主催:(社)静岡青年会議所 理想の静岡創世委員会
協力:まじょの杜

【日時】2015年11月22日(日)13:00～16:30
【場所】東海大学 三保研修館
【主な内容】
・三保の展望
・他地域の取り組み例
・三保の地域資源活用に関する取組 (各10分)
＊住民・・・三保自治会長 櫻田さん
＊行政・・・歴史文化課 杉山さん
＊学校・・・静岡農業高校 学生
＊企業・・・マツペレ 寺尾さん
＊団体・・・NPO法人三保の松原 羽衣村 宮城島さん
・ワールドカフェ方式による「地域資源活用アイデア」だし
・今後の連携について

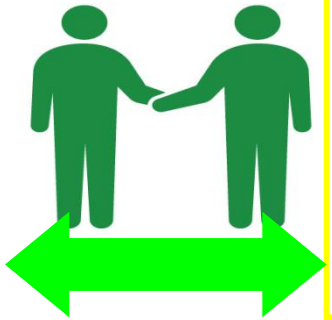
参加団体:20団体
参会者 :約100名

三保地区連合自治会 会長(1名)
静岡市役所 歴史文化課(6名)
富士山世界遺産ガイド(1名)
NPO法人三保の松原羽衣村(1名)
三保の音楽村(1名)
地域デザインカレッジ(4名)
あかりともるよる実行委員会(1名)
三保フューチャーセンター(1名)
三保プランコンテスト実行委員会(8名)
㈱しずおか体験企画(1名)
三保ビーチクリーン(1名)
しずおか大人の文化祭(6名)
みなとふじ(2名)
静岡農業高等学校 松葉研究班(6名)
東海大学海洋学部(3名)
エスパルスドリームフェリー(1名)
SBSふじさん部(1名)
静岡経済研究所(1名)
三保青年団(2名)
静岡青年会議所(43名)
一般(3名)

昔から活動を続けてきた年配層
→主に三保に昔から住んでいる住民団体

・既存の活動を続けることが重要で手一杯
・ノウハウもあり何が必要かおおよそわかっている
・組織の中で育ち、団体内の強い繋がりの中で役割を分担
・三保の松の保全に危機管理をいだいている

若者のやる事に協力的



新しく活動を始めた若年層
→三保内外含め主に世界遺産登録を機に作られた団体

・新しいアイデアや他でやっている面白そうな試みをしてみたい
・チャレンジ精神を持ち、試行錯誤を続けるエネルギーがある
・三保で活動する個人・団体同士の緩い繋がりは作れている
・自分たちにできることは何かと考えながら行動している

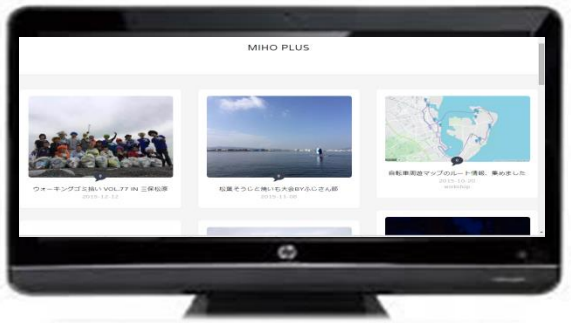
協力し合って色々な事をしたい

仮説検証結果: 松で繋がるのではなく、若者と年配の方との協力体制が重要

三保窓口一本化 【住民を巻き込んだチャレンジコミュニティの土台】

［ MIHO PLUS(仮)］ 発足

チャレンジコミュニティー
のための場



MIHO PLUS
ホームページの土台作り

有志団体
仮登録済み
＊あかりともるよるプロジェクト
＊まつぺれ（三保ビーチクリーンPJ）
＊チームつながり
＊しずおか大人の文化祭
＊みなとふじ
＊三保プランコンテスト実行委員会　その他

賛同済み
・三保青年部
・東海大学内　三保地域活性化プロジェクト

バックアップ協力
＊NPO法人三保の松原　羽衣村
＊三保自治会連合会
＊三保ボランティアガイド
＊三保音楽の村
＊㈱しずおか体験企画
＊しずおか体験教育旅行
＊㈱エスパルスドリームフェリー　その他

◆ まじょの杜のこれから

	MIHO PLUS会(仮)	MIHO PLUSのHP運営	住民アンケートの実施
内容	有志による三保における社会活動の実施や、受入れ窓口の主体となる会	三保の社会活動団体のホームページ共同運営	住民アンケートの実施 →有志の会へ展開
目的	社会活動の活性化 団体連携の強化 プロジェクト始動	受入れ窓口・情報の一本化 活動の可視化 各団体の情報共有・イベント告知	住民ニーズの把握 MIHOPLUSとのすり合わせ
時期	隔月実施（第0回 12月9日）	随時（試験運用中）	実施中（年内中集計）
メンバー／対象	上記メンバー	上記メンバー	三保全域2750世帯
場所	毎回変動	―	―
費用	会場費：無料（住民による協力）	管理費：1年間無料（地元企業の協力）	地域デザインカレッジ活動費内